

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	加藤 圭太 (かとう けいた)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科 博士後期課程 1年
発表年月 または事業開催年月	2023年12月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	2023年度第2回日本科学教育学会研究会 (若手活性化委員会開催) 九州大学 伊都キャンパス
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	加藤圭太, 森田裕介
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	通信制高校数学科における単位修得率向上を目指した 個別化教授システム (PSI) によるコースデザインと実践
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>【発表の概要】</p> <p>公立通信制高校数学科においては、必修科目の単位修得率向上のための研究が喫緊の課題である。本研究の目的は、公立通信制高校の必修科目「数学 I」において、加藤ほか (2022) の単位修得率向上を目指した PSI コースのデザインをもとに、1年間の実践とその評価を行うことで、単位修得率向上への有効性と改善点を明らかにすることであった。実践の結果、レポート合格率や試験得点の向上に有効であることが示唆された。また、単位修得率が過去 3 年間で最も高い値となったことから、本研究の PSI コースが単位修得率向上に有効である可能性が示唆された。今後の課題は、単位修得率向上に有効な PSI コースのデザイン原則を提案することである。</p> <p>【発表の成果】</p> <p>日本科学教育学会の研究会に参加し、ポスター発表を行った。多くの参加者の方からコメントいただき、議論を深めることができた。今回の発表内容を発展させ、まとめたものを、2024年3月末に締切の日本科学教育学会若手特集号に投稿する予定である。</p> <p>【抄録 URL】</p> <p>https://doi.org/10.14935/jsser.38.2_263</p>	

※無断転載禁止